

# ONETOUCH

ワンタッチベリオ®IQ

自己検査用グルコース測定器



取扱  
説明書



*ONETOUCH*  
**Verio<sup>®</sup>IQ**

**ワンタッチベリオ<sup>®</sup>IQ**  
自己検査用グルコース測定器


**取扱説明書**

# 取扱説明書


ワンタッチベリオ®IQ 自己検査用グルコース測定器をお選びいただきまして、ありがとうございます。


この取扱説明書には測定器の使用方法和測定に必要な製品の説明、血糖測定方法、ならびに注意事項が記載されています。この取扱説明書は、大切に保管しておいてください。

## 記号およびマーク


 警告および注意。取扱説明書および添付文書の安全に関する箇所を参照してください。

 直流

 十分な電池残量があります。

 電池残量30-85%

 電池残量が少なくなりました。

 電池残量がほとんどありません。

 食前

 食後

 メッセージアイコン

**C** コントロールテストの結果

# 目次

<b>1</b>	測定器の概要.....	12
<b>2</b>	測定の実施	
	-血糖測定.....	17
	-コントロールテストの実施.....	37
<b>3</b>	血糖測定結果に食事マークをつける.....	49
<b>4</b>	過去の測定記録、平均値、および パターンメッセージを見る.....	54
<b>5</b>	測定器の設定変更.....	68

<b>6</b>	測定器の保管とお手入れ.....	85
<b>7</b>	電池（充電）.....	87
<b>8</b>	トラブルシューティング.....	96
<b>9</b>	測定器の精度を確認する.....	110
<b>10</b>	仕様・保証.....	112
<b>11</b>	索引.....	118

## ご使用になる前に

本製品で血糖値を測定する前に、本製品の取扱説明書・添付文書、ならびにワンタッチベリオ®センサーおよびワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液の添付文書または取扱説明書をお読みください。

**注：**ワンタッチベリオ®IQをご使用になる前に電池を充電する必要があります。方法については87-95ページを参照してください。

## 本製品の使用目的

ワンタッチベリオ®IQ自己検査用グルコース測定器は、指先の新鮮な毛細血管全血中のグルコース濃度（血糖）を定量的に測定する目的に用います。医療従事者は静脈全血を検体として使用することも可能です。

本製品は、糖尿病の方が自宅で、または医療従事者が医療機関で使用し、糖尿病管理の有効性をモニターする補助として使用する体外自己診断用のものです。

本製品は糖尿病の診断やスクリーニングに使用しないでください。本製品は新生児には使用できません。

本測定器およびセンサーの添付文書もあわせて参照してください。



## 測定原理

血液中のグルコースがセンサーの試薬部分にある酵素 FAD-GDH と反応すると、微量の電流が発生します。この電流の量は血液中のグルコースの量に応じて変化します。測定器はこの電流の量を測定することで、血糖値を算出し、その測定結果を表示します。また、この測定結果は測定器のメモリーに記録されます。

## 禁止事項

本製品を糖尿病の診断に使用しないでください。本製品は糖尿病の診断用ではありません。

測定結果により糖尿病治療を中断・変更しないでください。糖尿病の診断は医師が臨床的な症状や他の検査結果とあわせ、総合的に判断してください。本製品は血糖管理の有効性をモニタリングする補助として使用してください。

糖尿病治療や血糖測定は必ず医師の指導と管理のもとで行ってください。測定結果により、自己判断で糖尿病治療を中断したり変更したりしないでください。

本製品を新生児の血糖測定に使用しないでください。新生児は本品の動作保証範囲外のヘマトクリット値を示す場合があり、適正な測定値が得られない可能性があります。

パターンメッセージにより患者の自己判断で糖尿病治療などを中断・変更しないでください。パターンメッセージの表示は、医師により設定された値に基づき、過去の測定結果から得られた傾向を表示するものであり、患者の自己判断や診断を行うものではありません。

複数患者に本品を使用する場合は、パターンメッセージを必ず「切」にし、この機能を使用しないでください。パターンメッセージは個人の過去の測定結果から得られた傾向を表示するものであり、複数患者に使用することを意図したものではありません。

### △ 警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmmol/Lで表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチコールセンター0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。不適切な測定単位のまま使用すると、血糖値の解釈を誤り、不適切な治療に結びつくおそれがあります。

### △ 警告

初めに測定器に表示される画面が、P14のスタート画面の図と一致していることを確認してください。正しい画面が表示されない場合、測定器に問題がある可能性があります。

## △ 警告

実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないでください。[その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。]

- キシロース吸収試験を実施中の患者

## △ 警告

プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者では、実際の血糖値より高値を示すおそれがあるため、プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者における血糖測定値に対する影響について、事前に製造販売業者から情報を入手してください。[プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者で、実際の血糖値よりも高値を示すことがあり、その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。]

## △ 注意

本製品は注意してお取扱いください。測定器を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

# ワンタッチベリオ®IQ 自己検査用グルコース測定器

## 箱に含まれるもの：



## 別途必要なもの：



- **A** ワンタッチベリオ®IQ自己検査用グルコース測定器  
(充電式電池が含まれます)
- **B** キャリングケース
- **C** ACアダプター
- **D** ミニUSBケーブル
- **E** ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液\*
- **F** ワンタッチベリオ®センサー\*

\*ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液およびワンタッチベリオ®センサーは別途入手できます。センサーおよびコントロール溶液の入手方法については、医療従事者にお問い合わせください。

## **⚠ 警告**

測定器と関連品はお子様の手の届かないところに保管してください。センサー、ランセット（針）、ランセットの保護キャップ、コントロール溶液の容器のキャップなど、小さな部品は喉をつまらせ、窒息させる危険があります。これらの部品を口に入れたり飲みこんだりしないでください。

# 1 測定器の概要

## ワンタッチベリオ®IQ 自己検査用グルコース測定器の概要

### 測定器

#### センサー挿入口

センサーを挿入すると、測定器の電源が入ります。

#### 電池残量マーク

電池残量を示します。

#### 画面



測定単位はあらかじめ **mg/dL** に設定されており変更できません。

#### 戻るボタン

- 前の画面に戻ります。
- メインメニューに戻ります (長押し)。

#### OKボタン

- 測定器の電源の入/切をします (長押し)。
- メニューの選択を確定します。

#### 上下ボタン

項目や値を選択したり変更したりします。

#### データポート/電池充電ポート

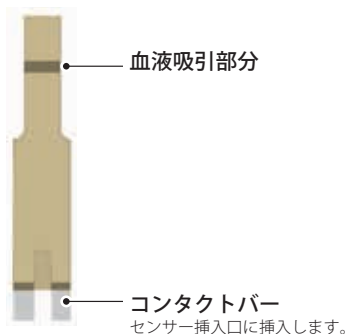
- 専用のデータ管理システムに接続するとき 사용합니다。詳細についてはワンタッチコールセンター (0120-113-903、24時間365日受付) にお問い合わせください。
- 測定器の電池を充電するとき 사용합니다。

注：初期設定では食事マークが「切」になっているため、食事マークは表示されません。

## ⚠ 警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチコールセンター0120-113-903 (24時間365日受付)までご連絡ください。

## ワンタッチベリオ®センサーの概要 センサー



## 1 測定器の概要

### 測定器の電源の入れ方

Ⓞ を長押しすると、スタート画面が表示されます。スタート画面が表示された後、Ⓞ を離します。



スタート画面

### ⚠ 警告

画面に表示される最初の画面がスタート画面と同じであるか確認してください。適切なスタート画面が表示されない場合、測定器に問題がある可能性があります。

スタート画面の次にメインメニューが表示されます。

測定器画面上で、現在選択されている項目は青色で表示されます。

またはセンサーを挿入すると測定器の電源が入り、測定をすることができます（23ページを参照してください）。



例

メインメニューで「設定」を選択した状態



## 画面のバックライトを使用する

測定器の電源を入れると自動的にバックライトが点灯します。しばらく使用しない場合は、バックライトは薄暗くなります。その場合は、いずれかのボタンを押すとバックライトが再度点灯します。もしくは、センサーを挿入するとバックライトが再度点灯し、「**血液をつけます**」という画面が表示されます。

暗い場所で測定を行う場合は、センサーを挿入する前に $\textcircled{\text{OK}}$ を長押しします。この操作により測定器のセンサー挿入口のライトが点灯し、暗い場所でも測定を行える十分な明るさを提供します。

## 1 測定器の概要

### 測定器の電源を切る

測定器の電源を切るには2つの方法があります：

- 電源が切れるまで **OK** を数秒間長押しします。

または

- 測定器を2分間使用しないときは電源が自動的に切れます。

## 血糖測定

### 測定の準備

**注：**血糖測定が初めての方には、コントロール溶液を使って測定の練習をすることをお勧めします。37-48ページのコントロールテストの実施を参照してください。

### 測定時に準備するもの：

ワンタッチベリオ®IQ測定器

ワンタッチベリオ®センサー

穿刺器具

滅菌済ランセット（針）

### 注：

- 本製品専用のセンサー（ワンタッチベリオ®センサー）を必ず使用してください。
- 本製品はコード番号の設定は必要ありません。
- 測定は6~44℃の動作温度範囲内で行ってください。
- 測定器とセンサーがそれぞれ異なる温度環境下で保管されていた場合、測定器とセンサーの両方を室温に置いて、しばらくたってから測定を行ってください。
- 30℃以下の高温多湿を避けた場所で保管してください。

## 2 測定の実施

- 測定器が結露した場合は測定をしないでください。測定器とセンサーを高温多湿を避けた場所に移し、測定器の表面を乾燥させてから測定してください
- センサーを取り出し測定をする準備ができるまで、センサーの容器を開けないでください。容器から取り出したセンサーは、ただちに使用してください。
- センサーの汚染や劣化を防ぐため、使用後はただちにセンサー容器のキャップをしっかりと閉めてください。
- 未使用のセンサーは開封時に入っていた容器に入れたまま保管してください。
- 測定後、使用済みのセンサーを容器に戻さないでください。
- 血液やコントロール溶液、またはその他の汚染物が付着したセンサーを再使用しないでください。センサーは1回限り使用可能です。
- 清潔で乾燥した手でセンサーを容器から取り出してください。センサーを曲げたり、切ったり、改造することは一切行わないでください。
- センサーの容器を初めて開封するときは、容器ラベルに処分日（容器の開封日に6か月を足した日付）を記入してください。

**注：**本測定器で実施した血糖測定結果を別の測定器で得られた測定結果と比較することは推奨していません。測定結果は測定器によって異なる可能性があり、測定器が適正に作動しているかどうかの指標として有用なものではありません。測定器の正確さを確認するには、本測定器の測定結果と検査室結果とを比較する必要があります。詳細な情報は110ページを参照してください。

### ⚠ 警告

- 測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチコールセンター0120-113-903 (24時間365日受付)までご連絡ください。
- 実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないでください。[その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。]
  - キシロース吸収試験を実施中の患者

## 2 測定の実施

### ▲ 注意

- センサーの容器に損傷がある場合や、容器のキャップが開いたままになっていた場合は、その容器に入っていたセンサーは使用しないでください。このようなセンサーを使用すると、エラーメッセージが表示されたり、測定結果が不正確になるおそれがあります。センサーの容器に損傷があった場合、ただちにワンタッチコールセンター0120-113-903(24時間365日受付)までご連絡ください。
- 測定器やご使用の関連品に問題があって測定を行うことができない場合は、医療従事者またはワンタッチコールセンター0120-113-903(24時間365日受付)にお問い合わせください。測定を行うことができないことにより治療の判断が遅れ、深刻な病状を招くおそれがあります。
- 本測定器は適用されている全ての基準を満たしていますが、血糖測定中の測定器の近くに携帯電話がある場合、測定器の適切な動作が妨げられるおそれがあります。
- センサーの容器には乾燥剤が入っており、これを吸ったり飲み込んだりすると有害です。また皮膚や眼が刺激されるおそれがあります。

- センサーの容器に印字されている使用期限または処分日を過ぎたセンサーを使用すると正確な測定結果を得られませんので、使用期限または処分日のいずれかが過ぎたものは使用しないでください。

**注：**本製品は指先以外の部位での測定(Alternate Site Testing: AST)について評価されていません。本製品を使って測定を行う場合は、指先のみを使用してください。

### ⚠ 注意

- 果物等の糖分を含む食品に触れた後、そのまま指先から採血をすると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがあります。[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告がある。]
- 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあるため、静脈血等他の部位から採血した血液を用いて測定してください。
  - 脱水症状
  - ショック状態
  - 末梢循環障害

## 2 測定の実施

### △ 注意

血液を介した感染症・疾患を防ぐために：

- 測定する前に、穿刺部位を石鹼と温水で丁寧に洗い、よくすすいでから十分に乾かしてください。
- 測定器は常に清潔な状態に保ってください（85-86ページを参照してください）。



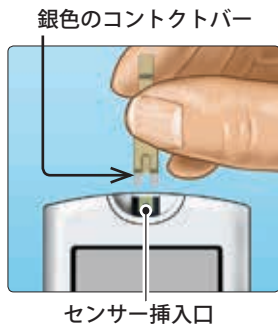
## 血糖測定の実施

### 1. センサーを挿入して測定器の電源を入れます

測定器の電源が切れた状態から始めます。センサーの容器からセンサーを1枚取り出します。

センサーの金色の面が表に見えるようにつまみ、銀色のコンタクトバーをセンサー挿入口に挿入してください。

容器から取り出したセンサーはただちに使用してください。センサーを汚さないよう、常に正しく取り扱ってください。



本製品ではコード番号を設定する必要はありません。

センサーを曲げないでください。

**注：**薄暗い場所または暗闇の中で測定を行うときは、センサーを挿入する前に **OK** を長押しして画面のバックライトとセンサー挿入口のライトを点灯させてください。このライトがセンサーの挿入と測定の実施に役立ちます。

## 2 測定の実施

「血液をつけます」という画面が表示されたら、センサーに血液をつけます。血液をつけるのはセンサーの左右どちら側でも構いません。



## 2. 血液を出します

血液の出し方については、穿刺器具の添付文書および取扱説明書にしたがってください（21ページもあわせて参照してください）。指先を軽くマッサージし、血液を出します。



大きさの目安

広がったり流れ出した血液は使わないでください。その場合は、穿刺部位を拭いてからもう一度血液を軽くしぼり出すか、または別の部位で穿刺をやり直してください。

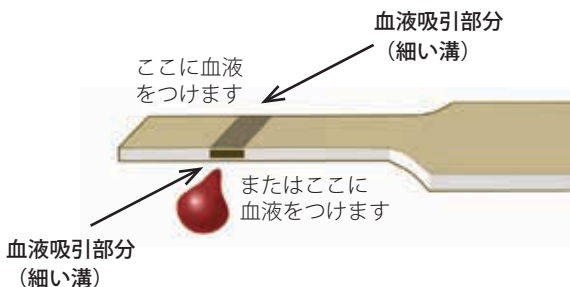


## 2 測定の実施

### 3. 血液をセンサーにつけます

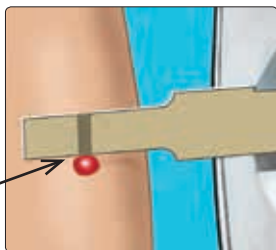
血液をつけるのはセンサーの左右どちら側でも構いません。センサーの血液吸引部分（細い溝）に血液をそっとつけます。

血液を出した直後にセンサーをつけるようにしてください。

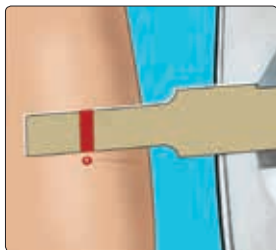


測定器を少し傾けて持ち、  
血液吸引部分（細い溝）を  
血液に近づけます。

血液吸引部分（細い溝）



血液吸引部分（細い溝）に  
血液が触れると、血液が吸  
引されます。



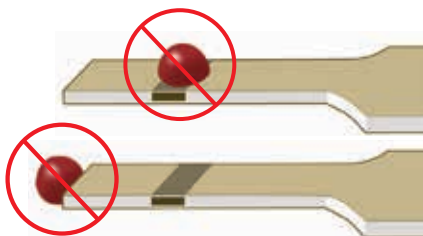
## 2 測定の実施

### 4. 血液吸引部分（細い溝）に血液が完全に吸い込まれるまで待ちます

血液吸引部分（細い溝）の中に血液が吸引されると、血液吸引部分（細い溝）が血液で完全に染まります。

血液吸引部分（細い溝）が血液で染まると測定器は5から1までのカウントダウンを開始します。

センサーの平らな面または先端には血液をつけないように注意してください。



- センサーに血液をこすりつけたり、すくったりしないでください。
- センサーを穿刺部位に強く押しつけないでください。血液吸引部分（細い溝）が遮られ血液がうまく吸い込まれないおそれがあります。

- 一度血液から離れたセンサーには、血液を二度づけしないでください。
- 測定中（カウントダウン中）は測定器に挿入されたセンサーを動かさないでください。エラーメッセージが表示されたり、電源が切れるおそれがあります。
- 測定結果が表示されるまで、測定器に挿入されたセンサーを取り出さないでください。途中でセンサーを取り出すと、電源が切れてしまいます。
- 充電中は測定を行わないでください。

### ⚠ 注意

血液吸引部分（細い溝）が血液で完全に染まっていない場合、エラーメッセージが表示されるか、または測定結果が正しく出ない場合があります。この場合は使用したセンサーは処分し、新しいセンサーを使って再測定してください。

## 2 測定の実施

### 5. 測定結果を確認します

測定結果の他に、測定単位、日付および時刻が画面に表示されます。

#### △ 警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチコールセンター0120-113-903(24時間365日受付)までご連絡ください。



例

**注：**測定結果が表示されるときは必ず日付と時刻が一緒に表示されていることを確認してください。日付または時刻が正しく設定されていない場合は68～73ページを参照して再設定するか、またはワンタッチコールセンター0120-113-903(24時間365日受付)にお問い合わせください。

測定結果の代わりにエラーメッセージが画面に表示される場合は96ページ以降を参照してください。



### ⚠ 注意


血糖値を測定しているにもかかわらず、測定結果画面に「コントロール溶液」という文字が表示された場合は、23ページ以降に記載されている手順にしたがって、新しいセンサーで再測定を行ってください。

### 測定後


測定結果が出た後：

- 食事マークが「入」の状態の場合は、この結果に食事マークを付けることができます  
(50-53ページ参照してください)。

または

- メインメニューに戻るには  を長押しします。

または、

- 測定器の電源が切れるまで  を数秒間長押しします。2分間何もしなかった場合も、測定器の電源が自動的に切れます。

## 2 測定の実施

### 使用済みセンサーを廃棄します

使用済みセンサーは感染性廃棄物とみなされることがあります。廃棄にあたっては必ず医療従事者の指示もしくはお住まいの地区の条例等に当たってください。

## 予期せぬ測定結果が出た場合

測定結果が予想を上回ったり、下回ったり、予期せぬ測定結果が出る場合、以下の注意を参照してください。

### ⚠ 注意

#### 脱水による測定値の低値表示

脱水症状が重症のときは、測定結果が実際より低めに表示されるおそれがあります。脱水症状の自覚症状がある場合はただちに医師の指示にしたがってください。

### ⚠ 注意

測定結果が20mg/dL未満の場合は、測定結果が表示されずに、「**血糖値が20mg/dL未満です。**」というメッセージが画面に表示されます。ただちに医師の指示にしたがってください。

### ⚠ 注意

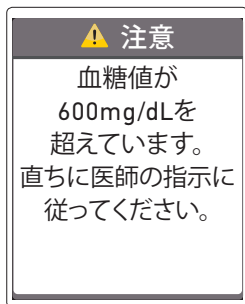
血糖値が  
20mg/dL未満です。

直ちに医師の指示に  
従ってください。

## 2 測定の実施

### ⚠ 注意

同様に、測定結果が600mg/dLより高い場合は、「**血糖値が600mg/dLを超えています。**」というメッセージが表示されます。ただちに医師の指示にしたがってください。



### ⚠ 注意

測定範囲を上回る測定結果の場合、「**血糖値が600mg/dLを超えています。**」というメッセージが表示されますが、おおよそ1500mg/dLを上回った場合には、「**エラー5**」のメッセージが表示される可能性があります。このメッセージが表示された場合には、測定器もしくはセンサーの問題によるエラーであるか、高値のためのエラーであるか判別できませんので注意してください。おおよそ1500mg/dLを超える高い血糖値が疑われ、「**エラー5**」が表示された時は、ただちに医師の指示にしたがってください。なお、「**エラー5**」が表示された場合は、この測定結果は測定器に保存されません。

## ⚠ 注意

### 予期せぬ測定結果が繰り返し出る場合

予期せぬ測定結果が繰り返し出る場合は、コントロール溶液を使ってコントロールテストを行ってください。コントロールテストの実施については37-48ページを参照してください。

本書の記載通りに測定を行っているにもかかわらず、自覚症状と測定結果が合わない場合は、ただちに医師の指示にしたがってください。自覚症状を無視したり、医師に相談なく糖尿病治療を変更したりしないでください。

## 2 測定の実施

### 動作範囲値外のヘマトクリット値

ヘマトクリット値（血液に占める赤血球の容積を示すパーセンテージ）が高い場合（60%を超える）または低い場合（20%未満）は、正確な測定結果が得られない可能性があります。

## コントロールテストの実施

ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液は測定器とセンサーが適切に機能し、測定が正しく実施されるかテストするために使用します（コントロール溶液は別途入手してください）。

### 注：

- ワンタッチベリオ®IQ測定器には、ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液を使用してください。
- コントロール溶液の容器を初めて開封するときには必ず、容器ラベルに処分日を記入してください。処分日の決め方については、コントロール溶液の取扱説明書または容器のラベルを参照してください。
- コントロール溶液の汚染や劣化を防ぐため、使用後はただちにキャップをしっかりと閉めてください。
- 測定に関しては17ページも参照してください。

## 2 測定の実施

### ⚠ 注意

- コントロール溶液を飲み込まないでください。
- コントロール溶液は皮膚、目、耳または鼻を刺激するおそれがあるため、直接触れないでください。
- コントロール溶液の容器に印字されている使用期限または処分日を過ぎたコントロール溶液を使用すると正確な測定結果を得られませんので、使用期限または処分日のいずれかが過ぎたものは使用しないでください。

### コントロールテストは次の場合に実施します

- 新しいセンサーの容器を開けて使用する時。
- 測定器やセンサーが正しく機能していないと思われる時。
- 予期せぬ測定結果が繰り返し出るとと思われる時。
- 測定器を落とすなどして、測定器に衝撃を与えたとき。



コントロールテストのために測定器を準備します

1. **OK** を長押しして測定器の電源を入れると、メインメニューが立ち上がります。

2. メインメニューから「動作テスト」を選択し、**OK** を押します。



「センサーを挿入」という画面が表示されるまで待ちます。



## 2 測定の実施

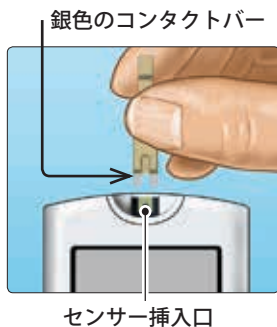
### 3. センサーを挿入します。

センサーの容器からセンサーを1枚取り出します。センサーを金色の面が見えるようにつまみ、銀色のコンタクトバーをセンサー挿入口に挿入してください。

容器から取り出したセンサーはただちに使用してください。センサーを汚さないよう、常に正しく取り扱ってください。

本製品ではコード番号を設定する必要はありません。

センサーを曲げないでください。



4. 「コントロール溶液をつけます」という画面が表示されるまで待ちます。



## 2 測定の実施

コントロール溶液を準備します

1. キャップを外す前に、容器を軽く振ってください。

2. コントロール溶液の容器のキャップを外し、キャップの上部を上に向けて平らな場所に置きます。

3. 最初の1滴目を捨ててください。

4. 容器およびキャップの先端を清潔なティッシュペーパーまたは布できれいに拭いてください。



5. キャップの小さな窪みか、清潔で平らな面に1滴落とします。



コントロール溶液をセンサーに点着します

1. センサーの側面がコントロール溶液に対してわずかに斜めになるように測定器を持ちます。



2. センサーの側面の血液吸引部分（細い溝）をコントロール溶液に点着させます。

3. 血液吸引部分（細い溝）が溶液で完全に染まったのを確認してください。点着の方法については26ページを参照してください。



## 2 測定の実施

### コントロールテストの結果を確認します

測定器が5から1までのカウントダウンを開始します。測定結果の他に日付、時刻、測定単位、そして「コントロール溶液」という文字が表示されます。

「動作テスト」が選択されたため、測定器は測定結果をコントロールテスト結果として記録します。

コントロールテストの結果は過去の測定記録を閲覧するときに見ることができますが、測定結果の平均値に含まれません。



例

### ⚠警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は使用を中止し、ワンタッチコールセンター0120-113-903(24時間365日受付)までご連絡ください。

### ⚠注意

コントロールテストを実施する前に、必ずメインメニューから「動作テスト」を選択してください。「コントロール溶液」と画面に表示されない場合、この結果は測定結果の平均値に組み入れられ、平均値も変化します。39ページに記載されているコントロールテストの手順にしたがって、新しいセンサーで再度測定を行ってください。

## 2 測定の実施

コントロールテストの結果が許容範囲にあるか確認します

測定器に表示された結果を、ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液の容器に印字された許容範囲と比較します。



ワンタッチベリオ®センサー専用  
コントロール溶液許容範囲  
102-138mg/dL

許容範囲の例



許容範囲外の結果が出る原因として考えられること：

- コントロールテストの操作手順を間違えた。
- コントロール溶液が汚染されている、または使用期限もしくは処分日を過ぎている。
- センサーまたはセンサーの容器が損傷している、または使用期限もしくは処分日を過ぎている。
- コントロールテストを実施した際、測定器、センサー、コントロール溶液の温度が同じでなかった。
- 測定器が故障している。
- コントロール溶液のキャップの先端の小さな窪みに汚れがある、または汚染されている。

## 2 測定の実施

### お手入れ

コントロール溶液のキャップの先端を清潔なティッシュペーパーまたは布できれいに拭いてください。

### △注意

- コントロールテストの結果が、再びコントロール溶液の容器ラベルに印字されている許容範囲から外れる場合は、お使いの測定器、センサー、およびコントロール溶液の使用を中止してワンタッチコールセンター 0120-113-903(24時間365日受付)までご連絡ください。
- コントロール溶液に印字された許容範囲は、コントロールテストの許容範囲です。血糖値の推奨範囲ではありません。

# 血糖測定結果に 食事マークをつける

3

## 血糖測定結果に食事マークをつける

ワンタッチベリオ<sup>®</sup>IQでは、現在の血糖測定結果に「食前(🍏)」マークまたは「食後(🍷)」マークをつけることができます。

- 「食前」血糖測定は、食事を開始する直前に実施します。
- 「食後」血糖測定は、一般に食事開始から1～2時間後に実施します。

測定器のメモリーに保存されている結果を見ているときに直近の測定結果（「前回の測定結果」）の食事マークを変更したり、食事マークをつけたりすることもできます。

食事マークの設定に関しては、医師にお尋ねください。

**注：**高めのパターンメッセージの表示には、「食前」マークのついた血糖測定結果のみが使用されます（60-67ページを参照してください）。

血糖測定結果に食事マークをつけるときは注意してください。誤った食事マークをつけると、平均値および高めのパターンメッセージに表示される情報が不正確になったり、誤って解釈したりするおそれがあります。

### 3 血糖測定結果に食事マークをつける

## 食事マークをつける・食事マークを変更する

食事マークをつけるには食事マークが「入」になっている必要があります（82ページを参照してください）。初期設定では食事マークは「切」に設定されています。

### 食事マークをつける

測定後に結果が表示されたら、「食前」および「食後」の表示が画面に現れます。

 食前

 食後



1. **Ⓐ** または **Ⓑ** を **Ⓓ** 押して「食前」または「食後」を選択し、**Ⓔ** を押します。

その測定結果に食事マークをつけたくない場合、**Ⓒ** を押して「測定結果」画面に戻るか、**Ⓒ** を長押ししてメインメニューに戻ります。

**注：**測定結果に一度食事マークをつけると、食事マークの変更は可能ですが食事マークを外すことはできません（52-53ページを参照してください）。



食事マークはここに表示されます

「食前」マークの例

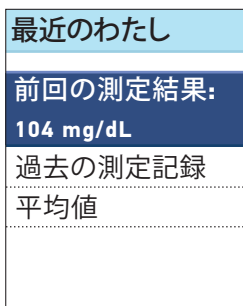
### 3 血糖測定結果に食事マークをつける

#### 前回の測定結果に食事マークをつける・食事マークを変更する

メインメニューから「最近のわたし」を選択し、**OK**を押して確定します（過去の測定記録を見るには、54-55ページを参照してください）。



次に「前回の測定結果」を選択し、**OK**を押して確定します。



食事マークをつけるには、「食前」または「食後」を選択し、**OK**を押して確定します。



食事マークを変更するには、表示されているマークを選択し**OK**を押して確定し、51ページにしたがって食事マークを変更します。



「食後」マークの例

**注：**前回の血糖測定結果のみ食事マークをつけたり変更することができます。

## 4

## 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

測定器は過去の血糖測定結果およびコントロールテストの結果を新しいものから順に最大750件まで保存します。過去の血糖測定結果を表示するには、次の通りいくつかの方法があります。

測定器の電源が入っていない場合は、**OK**を長押しするとスタート画面が表示されます。スタート画面が表示された後、**OK**を離します（測定器の電源の入れ方については14ページを参照してください）。



測定を終えたばかりの場合は、**←**を長押しすると血糖測定結果画面からメインメニューに切り替わります。

メインメニューから次のいずれかを選択します。

- 「最近のわたし」では以下の項目を見ることができます。
  - 「前回の測定結果」
  - 「過去の測定記録」
  - 「平均値」
- 「パターン履歴」では高め/低めパターンメッセージを見ることができます。

**↑** または **↓** を押して希望の項目を選択し、**OK** を押して確定します。



# 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

## 「最近のわたし」

以下の情報を見たいときに選択します。


- 「前回の測定結果」
- 「過去の測定記録」
- 「平均値」


最近のわたし
前回の測定結果: 104 mg/dL
過去の測定記録
平均値

## 前回の測定結果

測定器には前回の測定結果が表示されます。

前回の測定結果に食事マークをつける、または食事マークを変更したい場合は、52-53ページを参照してください。

前の画面に戻る場合は  を押します。

メインメニューに戻る場合は  を押します。







**注：**初期設定では食事マークが「切」になっているため、食事マークは表示されません。

## 4 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

### 過去の測定記録

測定器には、直近のものから測定が行われた順に履歴が表示されます。一目で見えるのは最大6件です。

古い測定結果を表示するには  を押し、新しい測定結果を表示させるには  を押しします。 か  を押し続ければ、測定結果の記録表示を素早く切り替えることができます。


過去の測定記録		
mg/dL		
4月1日 火曜日		
9:03		120
7:00		110
3月31日 月曜日		
20:29		150
15:12		107


次の記号が表示されることもあります。

**HI** 600mg/dLより高い血糖測定結果  
(97ページを参照してください)

**LO** 20mg/dL未満の血糖測定結果  
(97ページを参照してください)




**C** コントロールテストの結果  
(37-48ページを参照してください)


 「食前」マークがつけられた血糖測定結果


 「食後」マークがつけられた血糖測定結果

## 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

4

個々の測定結果の詳細を見るには、 または  を押して測定結果を選択し、次に  を押して確定します。

前の画面に戻る場合は  を押します。

メインメニューに戻る場合は  を押します。



## 4 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

### 平均値

現在の日付から過去7日間、14日間、30日間、および90日間の測定結果の数とそれぞれの平均値が表示されます。

平均値	
	mg/dL
<b>7日間</b> 24件	<b>104</b>
14日間 52件	120
30日間 136件	124
90日間 396件	112

過去7日間、14日間、30日間、および90日間の平均値の詳細を見るには、「平均値」を選択し、**OK**を押して選択を確定します。

それぞれの平均値の詳細画面から「平均値」画面に戻る場合は $\leftarrow$ を押します。

メインメニューに戻る場合は**OK**を押します。

### 7日間の平均値

過去7日間で  
低めの結果が  
4件あり、  
食前マークをつけた  
高めの結果が  
5件ありました。

メニュー

## 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

4

過去7日間、14日間、30日間、および90日間の測定結果がない場合は、測定件数は「0件」と表示され、平均値の表示欄にはダッシュ記号（---）が表示されます。

測定結果の平均値を計算するとき、「血糖値が600 mg/dLを超えています。」と表示された測定結果は600 mg/dLとして、「血糖値が20 mg/dL未満です。」と表示された測定結果は20 mg/dLとして平均値に含まれます（測定範囲外の血糖測定結果についての詳細は33-36ページを参照してください）。

**注：**測定器は現在の日付の設定から過去7日間、14日間、30日間、および90日間の平均値を計算します。日付設定を変更すると、平均値も変化することがあります。

測定結果の平均値は、過去の測定結果をもとに算出されます。測定結果の平均値をそのまま糖尿病治療の判断に使用しないでください。医師に相談なく糖尿病治療を変更しないでください。

### △注意

平均値を使用する場合は、測定器を他人に使わせないでください。

## 4 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

# パターン履歴（高め/低めパターンメッセージ）

### 禁止事項

複数患者に本品を使用する場合は、パターンメッセージを必ず「切」にし、この機能を使用しないでください。医師に相談なく糖尿病治療などを中断・変更しないでください。

76-81ページで設定した「設定値（高め）」および「設定値（低め）」を元に高め/低めパターンを測定器が検出した場合に、「高めパターン」および「低めパターン」メッセージが表示されます。パターンメッセージは過去の測定結果から得られた情報を提供し、糖尿病治療または生活習慣の変更を検討する際に役立つ場合があります。

初期設定ではパターンメッセージは「入」に設定されていますが、低めパターンメッセージのみが表示されません。血糖測定結果を使用して高めパターンメッセージも表示するためには、パターンメッセージおよび食事マーク機能が「入」になっている必要があります（76-83ページを参照してください）。

ワンタッチベリオ®IQは測定をするたびに過去5日間に新しいパターンがあるかどうかを調べます。

- **高めパターン**：高めパターンの表示には「**食前**」の食事マークがつけられた測定結果のみが使用されます。測定器の「**設定値（高め）**」を上回る「**食前**」測定結果が過去5日間のうち異なる日に3回、同じ測定時間帯（3時間以内）に記録された場合にのみ表示されます。

- 低めパターン：低めパターンは測定器の「設定値（低め）」を下回る測定結果が過去5日間のうち異なる日に2回、同じ測定時間帯（3時間以内）に記録された場合のみ表示されます。低めパターンの表示には食事マークの有無に関わらず、全ての測定結果が使用されます。
- 一度パターンに使用された測定結果がそれ以降のパターンメッセージに再び使用されることはありません。

**注：**パターンメッセージが適切に表示されるよう以下のことに注意してください。

- 時差のある地域に行かれた場合は現地の時刻と日付に正しく設定しなおしてください。
- 血糖測定には同一の測定器を使用してください。複数の測定器を使用すると、適正なパターンが表示されない可能性があります。
- 血糖測定結果の食事マークをつける際には注意して実施してください。
- 高血糖または低血糖を感じた場合は測定を行ってください。

### **△注意**

- 臨床的判断は医師が臨床的な症状や他の検査結果を合わせ総合的に判断してください。

## 4 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る


### △注意


- パターンメッセージは医師が測定器で設定した値に基づくものです（76-81ページを参照してください。）。これらのメッセージは、血糖値が600mg/dLを超えた場合、または20mg/dLを下回った場合に必ず表示される「血糖値が600mg/dLを超えています。」および「血糖値が20mg/dL未満です。」というメッセージとは異なります。
- パターンメッセージを使用するときは、測定器を他人に使わせないでください。




## 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

4


血糖測定後、パターンが検出された場合は常に「低めパターン」または「高めパターン」の表示とメッセージアイコン（）が測定結果と一緒に表示されます。測定結果が不正確な場合においてもパターンメッセージが表示されることがあります。

測定後にパターンメッセージを見る場合は、「見る」を選択し、を押して確定します。

パターンメッセージを見なくてよい場合は、「後で見る」を選択し、を押して測定結果表示画面に戻ります。



例  
低めパターン

**注：**「後で見る」を選択した場合は、各測定後48時間まで、またはメッセージを確認するまでメッセージアイコン（）は消えません。



## 4 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

### 「低めパターン」メッセージ

この例の「低めパターン」メッセージは、過去5日間のうちの異なる日に2回、同じ測定時間帯（3時間以内）において「設定値（低め）」を下回る血糖測定結果が記録されたことを示します。

「低めパターン」メッセージの原因となったそれぞれの血糖値の詳細を見る場合は、「詳細を確認する」を選択し、**OK**を押して確定します。

前の画面に戻る場合は**←**を押します。

メインメニューに戻る場合は**OK**を押します。

### 低めパターン

4月1日 13:45

あなたの血糖値はこの時間帯に低めになっているようです。

**詳細を確認する**

例

### 低めの詳細

	mg/dL
4月1日	
13:45	65
3月30日	
11:45 	60

**メニュー**

例

## 「高めパターン」メッセージ

この例の「高めパターン」メッセージは、過去5日間のうちの異なる日に3回、同じ測定時間帯（3時間以内）において「設定値（高め）」を上回る血糖測定結果が記録されたことを示します。

**注：**「高めパターン」メッセージには「設定値（高め）」を上回り、かつ食前測定結果としてマークがつけられた血糖測定結果のみが使用されます。血糖測定結果に食事マークをつける際は注意して実施してください。

初期設定では食事マークが「切」になっているため、高めパターンは表示されません。

「高めパターン」メッセージの原因となったそれぞれの血糖値の詳細を見る場合は、「詳細を確認する」を選択し、**OK**を押して確定します。

前の画面に戻る場合は**←**を押します。

メインメニューに戻る場合は**OK**を押します。




**高めパターン**

4月1日 13:45

あなたの食前血糖値はこの時間帯に高めになっているようです。

**詳細を確認する**

例

高めの詳細		mg/dL
4月1日		
13:45		183
3月31日		
12:15		162
3月29日		
14:03		190
<div style="background-color: #004a99; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"><b>メニュー</b></div>		

例

## 4 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

パターンメッセージが未読の場合は、未読メッセージ数とともに「パターン履歴」がメインメニューに表示されます。

メッセージを確認する場合は、「パターン履歴」を選択し、**OK**を押して確定します。



「パターン履歴」画面上で確認したいメッセージを選択し、**OK**を押して確定します。メッセージ確認後はメッセージアイコン (🗨️) が消えます。

メッセージを確認すると、メインメニュー上の「パターン履歴」の左側に表示される未読メッセージ数が減ります。

パターン履歴		
2件の未読メッセージ		
🗨️	4月1日 13:45	低め
🗨️	3月29日 13:00	高め
	3月21日 8:20	低め
	2月19日 18:18	高め

## 過去の測定記録、平均値、およびパターンメッセージを見る

4

パターンメッセージの原因となったそれぞれの血糖値の詳細を見る場合は、「詳細を確認する」を選択し、**OK** を押しして確定します。

### 低めパターン

4月1日 13:45

あなたの血糖値はこの時間帯に低めになっているようです。

**詳細を確認する**

例

前の画面に戻る場合は **←** を押します。

メインメニューに戻る場合は **OK** を押します。

### 低めの詳細

		mg/dL
4月1日		
13:45		65
3月30日		
11:45		60

**メニュー**




例

## 5 測定器の設定変更

### 測定器の設定変更

測定器の設定はいつでも変更することができます。測定器を初めて使用するときや、測定器の電池が完全に切れてしまったときは、測定器の言語、時刻、日付が正しいか確認してください。これにより、各測定結果を正しい日付と時刻で記録することができます。

測定器の電源を入れると、スタート画面の後にメインメニューが表示されます。青く反転している項目が、測定器の画面上で現在選択されている項目を示しています。

1. メインメニュー画面で  または  を押して「設定」を選択し  を押して選択を確定します。



「設定」画面が表示されます。

2. **▲** または **▼** を押して変更したい設定項目を選択し、**○K** を押して確定します。

- 「時刻」
- 「日付」
- 「言語」
- 「機能設定」
- 「測定器情報」

<b>設定</b>	
時刻:	<b>12:45</b>
日付:	<b>2015/4/23</b>
言語:	日本語
機能設定	
測定器情報	

「機能設定」画面では次のことができます。

- 食事マーク機能を「入」または「切」にします。
- パターンメッセージを「入」または「切」にします。
- パターンメッセージの設定値（高め）設定値（低め）を調整します。

<b>機能設定</b>	
食事マーク:	入
パターンメッセージ	
メッセージ:	入
設定値	

## 5 測定器の設定変更

変更したい設定項目が表示されたとき、画面上の最初の項目が変更できる状態になっています。▲ または ▼ を押して希望する値に変更し、次に OK を押します。選択されている項目を変更する必要がないならば、OK を押して先に進みます。

OK を押すたびに次の項目の選択に移ります。

各設定の変更中に ⬅ を押すと、前の画面に戻って設定しなおすことができます。⬅ を長押しすると、いつでもメインメニューに戻ることができます。

### 時刻の変更

メインメニュー画面で ▲ または ▼ を押して「設定」を選択し OK を押して選択を確定します。





「設定」画面が表示されます。

Ⓐ または Ⓑ を押して  
「時刻」を選択し Ⓒ を押し  
て選択を確定します。

設定	
時刻:	12:45
日付:	2015/4/23
言語:	日本語
機能設定	
測定器情報	




「時刻」画面で Ⓐ または Ⓑ を押して時間を変更し、Ⓒ を押して確定します。

この手順を繰り返して分を設定します。

時刻の設定	
12	: 45
注意して 設定してください。	




## 5 測定器の設定変更

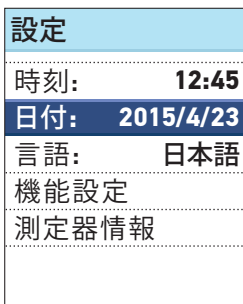
### 日付の変更

メインメニュー画面で  または  を押して「設定」を選択し  を押して選択を確定します。



「設定」画面が表示されます。

 または  を押して「日付」を選択し  を押して選択を確定します。



「日付」画面で **▲** または **▼** を押して年を変更し、**OK** を押して確定します。




この手順を繰り返して月と日を設定します。

日付の設定		
年	月	日
2015	4	23

注意して  
設定してください。




## 5 測定器の設定変更

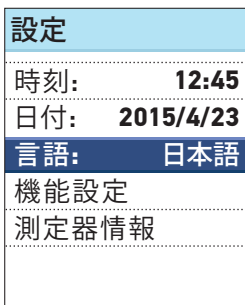
### 言語の変更




メインメニュー画面で  または  を押して「設定」を選択し  を押して選択を確定します。

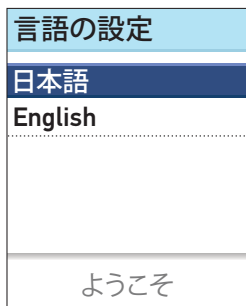


「設定」画面が表示されます。

 または  を押して「言語」を選択し  を押して選択を確定します。



「言語」画面で  または  を押して表示する言語を選択し、 を押して確定します。



## 5 測定器の設定変更

### 機能設定

本測定器は糖尿病管理に役立つ情報を提供する機能を複数備えています。

**パターンメッセージ-血糖値**  
に高めパターンまたは低めパターンがあるかどうかを知らせます。

**食事マーク-食事の前後に測定が行われたことを示すために、血糖測定結果にマークをつけることができます。**

機能設定	
食事マーク:	入
パターンメッセージ	
メッセージ:	入
設定値	

### パターンメッセージを設定する




測定器は、血糖測定結果に医師が設定した「設定値（低め）」を下回るまたは「設定値（高め）」を上回るパターンがある場合に通知を行います。詳細な情報は60-67ページを参照してください。

**注：**食事マークは血糖測定結果から高めパターンメッセージを表示すべきかを決定するために使用されます。血糖測定結果の食事マークをつける際は注意して実施してください（49-53ページを参照してください）。

- 血糖測定結果に食事マークをつけるときは注意してください。誤った食事マークをつけると、高めパターンメッセージに表示される情報が不正確になったり、誤って解釈されるおそれがあります。
- パターンメッセージ機能は測定器に設定された時刻と日付を使用してパターンを検出します。この機能を使用するときは時刻と日付が正しく設定されていることを確認してください。

## 禁止事項

パターンメッセージにより患者の自己判断で糖尿病治療など中断・変更しないでください。パターンメッセージの表示は医師により設定された値に基づき、過去の測定結果から得られた傾向を表示するものであり、患者の自己判断や診断を行うものではありません。

メインメニュー画面で  または  を押して「設定」を選択し  を押して選択を確定します。



## 5 測定器の設定変更

「設定」画面が表示されます。

⬆ または ⬇ を押して  
「機能設定」を選択し、**OK**  
を押して確定します。

「機能設定」画面で  
「メッセージ」を選択し、**OK**  
を押して確定します。

設定	
時刻:	12:45
日付:	2015/4/23
言語:	日本語
機能設定	
測定器情報	

機能設定	
食事マーク:	入
パターンメッセージ	
メッセージ:	入
設定値	



この機能を「入」または「切」にする場合は、**⬆** または **⬇** を押して希望の項目を選択し、**OK** を押して確定します。

メッセージ	
<input checked="" type="radio"/>	入
<input type="radio"/>	切
.....	
パターンメッセージ を表示します。	

「メッセージ」が「入」の状態のとき、「機能設定」画面で「設定値」を選択し、**OK** を押して確定します。

機能設定	
食事マーク:	入
.....	
パターンメッセージ	
メッセージ:	入
.....	
<b>設定値</b>	

### 注：

- 「設定値」を設定するためには「メッセージ」が「入」になっている必要があります。
- パターンメッセージは時間を問わず適用されます。

## 5 測定器の設定変更

「設定値」画面で「設定値（低め）」を選択し、**OK** を押して確定します。

設定値	
設定値(低め)	70
設定値(高め)	130

「設定値（低め）」が選択されます。

**▲** または **▼** を押して値を選択し、**OK** を押して確定します。

設定値(低め)
<b>70</b> <b>◆</b> mg/dL
低めパターンの 上限値を 設定してください。

次に「設定値」画面で「設定値（高め）」を選択し、**OK**を押して確定します。

「設定値（高め）」が選択されます。

**▲** または **▼** を押して値を選択し、**OK** を押して確定します。

### 注：

「設定値（高め）」を設定するには食事マークが「入」になっている必要があります

（82ページを参照してください）。

測定器はあらかじめ食事マーク「切」の状態に設定されています。食事マークが「切」の状態ですら「設定値（高め）」を設定しようとする、と、「設定値（高め）」を設定する前に食事マークを「入」にするよう促され、「機能設定」画面に戻ります。




設定値(高め)	
食前:	<b>130</b> ◆ mg/dL
この値は「食前」血糖値にのみ適用されます。	

機能設定	
食事マーク:	<b>入</b>
パターンメッセージ	
■ メッセージ:	<b>入</b>
■ 設定値	

## 5 測定器の設定変更




### 食事マーク機能を「入」または「切」にする

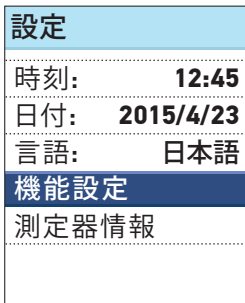
測定後、血糖測定結果に食事マークをつけることができます。詳細な設定は49 - 53ページを参照してください。

メインメニュー画面で  または  を押して「設定」を選択し  を押して選択を確定します。



「設定」画面が表示されます。

 または  を押して「機能設定」を選択し、 を押して確定します。



「機能設定」画面で「食事マーク」を選択し、**OK**を押して確定します。

**注：**食前マークは血糖測定結果から「高めパターン」メッセージを表示する際に使用されます。「高めパターン」メッセージを受け取りたい場合は、食事マークが「入」になっていることを確認し、血糖測定結果の食事マークをつける際には注意して実施してください（49-53ページを参照してください）。

この機能を「入」または「切」にする場合は、**▲**または**▼**を押して希望の項目を選択し**OK**を押して確定します。

「機能設定」画面に戻ります。

**◀**を押して「設定」画面に戻るか、または**◀**を長押ししてメインメニューに戻ります。

機能設定	
食事マーク:	入
パターンメッセージ	
メッセージ:	入
設定値	

食事マーク	
<input checked="" type="radio"/>	入
<input type="radio"/>	切
<p>入にすると あなたの測定結果に 食前・食後マークを つけられます。</p>	

## 5 測定器の設定変更

### 測定器のシリアル番号、ソフトウェアバージョンの確認

測定器には測定器のシリアル番号およびソフトウェアバージョンの情報が保存されており、この情報はいつでも確認することができます。

「設定」画面で、「測定器情報」を選択し、**OK**を押して確定します。

測定器情報が表示されます。

**←** または **OK** を押して「設定」画面に戻ります。

#### △警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は使用を中止し、ワンタッチコールセンター0120-113-903(24時間365日受付)までご連絡ください。

#### 設定

時刻: 12:45

日付: 2015/4/23

言語: 日本語

機能設定

測定器情報

#### 測定器情報

シリアル番号

**XXXXXXXXX**

ソフトウェア: 00.00

単位: mg/dL

## 測定器の保管

使用後は、測定器一式をキャリングケースに収納して保管してください。直射日光・高温多湿を避け、30℃以下の乾燥した場所で保管してください。冷蔵庫・冷凍庫に保管しないでください。温度がこれより高い場所、または相対湿度が10~90%を外れる場所で保管したセンサーは使用しないでください。

汚染や劣化を防ぐため、センサーおよびコントロール溶液の使用後は、ただちに容器のキャップをしっかりと閉めてください。

センサーは必ず開封時に入っていた容器に入れたまま保管してください。

## 6 測定器の保管とお手入れ

### 測定器のお手入れ

- 測定器の表面は、水と中性洗剤をしみこませた柔らかい布で拭いてください。
- アルコールやその他の有機溶媒を使用しないでください。
- センサー挿入口やデータポート/電池充電ポートから測定器内に液体、ごみ、ちり、血液、コントロール溶液などが入らないように注意してください。
- ティッシュまたはガーゼを絞ったときの水分がセンサー挿入口に入らないようにしてください。
- 測定器に洗浄液を吹きかけたり、測定器を液体に浸さないでください。
- 測定器の分解、修理、改造は行わないでください。





## 電池

ワンタッチベリオ®IQは充電式電池を使用しています。完全に充電された場合、再度充電が必要となるまでに約6～8週間、血糖測定またはコントロールテストを実施できます。

**注：**十分に充電しても使用時間が極端に短くなった場合はワンタッチコールセンター0120-113-903（24時間365日受付）まで連絡してください。

### △注意

測定器の電池は本体に内蔵されているため、交換できません。

測定器を開けて電池を取り出したり交換したりしないでください。

### △警告


感電のおそれがあるため、測定器の電池充電中はセンサーを挿入しないでください。

## 7 電池（充電）


### 電池残量マーク


測定器の電源が入っているとき、電池残量の目安を示す電池アイコンが画面の右上に常に表示されます。



 十分な残量があります。

 電池残量30-85%

 電池残量が少なくなりました。（アイコン点滅）

 電池残量がほとんどありません。（アイコン点滅）

電池の充電が必要な場合は、測定器の電源を入れた時に通知画面が表示されます。詳細はトラブルシューティング（96-109ページ）を参照してください。

## 測定器の電池を充電する

測定器の電池は以下のいずれかを使用して充電できます。

- ミニUSBケーブル（コンピュータを使用して充電する）
- ミニUSBケーブルとACアダプターの併用（壁面コンセントを使用して充電する）。

ミニUSBケーブルとACアダプターは箱に含まれます。

### △注意

- 本測定器にはワンタッチ<sup>®</sup>ミニUSBケーブルおよびACアダプターのみを使用してください。ミニUSBケーブルまたはACアダプターを紛失した場合は、ワンタッチコールセンター0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。
- 屋外または濡れた場所で測定器の充電を行わないでください。
- ミニUSBケーブル、ACアダプターまたは測定器に損傷、変色、異常発熱、または異臭が認められる場合はこれらを使用せず、ワンタッチコールセンター0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。

## 7 電池（充電）

### △注意

- 箱に含まれるミニUSBケーブルのみをACアダプターに差し込んでください。
- 壁面コンセントの電圧がACアダプターの電圧と適合することを確認してください。
- 大人の目の届かないところで小児に測定器の充電をさせないでください。

### 1. ミニUSBケーブルのプラグを測定器に接続する

測定器の電源を切った状態で開始します。ミニUSBケーブルを、測定器の底部にあるデータポート/電池充電ポートに差し込みます。



## 2. ケーブルを電源に差し込む

ケーブルの反対側のプラグをコンピュータのUSBポートに差し込みます。

**注：**パソコンに接続された状態で本製品の安全作動を徹底するため、しかるべき安全許可が下りたパソコンを使用してください。この安全許可は測定器に接続されている機器（パソコン、モニター等）に表示されたロゴからわかります。

**または、**

ケーブルの反対側のプラグをACアダプターに差し込みます。次にACアダプターを壁面コンセントに差し込みます。



## 7 電池（充電）

### △警告

感電のおそれがあるため、測定器の電池充電中はセンサーを挿入しないでください。

### 注：

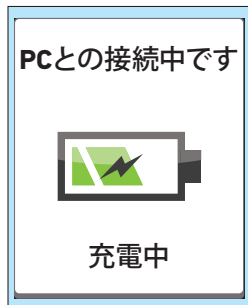
- ミニUSBケーブルまたはACアダプターを使用すると、電池は約2時間で完全に充電されます。
- 電池の充電にコンピュータのUSBポートを使用する場合は、コンピュータの電源が入っており、スタンバイモードではないことを確認します。測定器が充電されない場合は、コンピュータの別のUSBポートを使用してみてください。
- 電池を長持ちさせるために、「**電池残量低下**」という画面が表示されてから電池を充電することをお勧めします（106ページを参照してください）。

### 3. 電池を充電する

測定器がコンピュータに接続されているとき、またはACアダプターを使用しているとき、電池が充電中であることを示すために「**充電中**」と画面に表示されます。



測定器がコンピュータに接続されており、かつ専用のデータ管理システムがPCにインストールされている場合は測定器画面に「PCとの接続中です」と表示されます。詳細はワンタッチコールセンター（0120-113-903、24時間365日受付）にお問い合わせください。



#### 注：

- いずれの充電方法を使用する場合も「**充電中**」と表示されます。表示されていない場合は測定器の電池は充電されていません。
- 20秒後に「**充電中**」の画面は暗くなりますが、測定器は充電を継続します。

## 7 電池（充電）

### 4. 充電の完了

充電が完了すると（空の電池を充電する場合で約2時間）、**「充電完了」**の画面が表示されます。測定器の電源を入れる前に、または測定を実施する前にミニUSBケーブルを測定器から抜きます。

**注：**2時間経っても測定器が完全に充電されない場合は、ケーブルが正しく差し込まれているかどうか確認してください。問題が解決しない場合はワンタッチコールセンター0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。



**充電完了**

**PCとの接続中です**



**充電完了**



## 急速充電

電池残量が少なく、血糖測定を実施できない場合は、測定器をミニUSBケーブルまたはミニUSBケーブルとACアダプターで接続すると急速充電を行います。測定器が急速充電モードであることを示すために「**急速充電中**」の表示が約60秒間画面上に現れます。急速充電後、接続した状態にしておくと電池の充電が継続されます。



急速充電後、血糖測定を実施する前に壁面コンセントまたはコンピュータから測定器を外すのを忘れないでください。測定後、測定器を再度接続し、完全に充電を行います。

**注：**電池残量が極めて少ない場合であっても、測定器に保存される測定結果には影響ありません。しかし日付と時刻の再設定が必要な場合があります。68-83ページを参照してください。

## トラブルシューティング

センサーや測定器に問題がある場合、または測定結果が600mg/dLを超えるか20mg/dL未満であった場合、測定器にメッセージが表示されます。不適切な使い方をした場合には、メッセージが表示されずに正確でない測定結果が出る可能性があります。

**注：**測定器の電源が入っているにもかかわらず操作できない場合はワンタッチコールセンター 0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。

画面に表示されるメッセージにしたがっても同じメッセージが再び表示される場合は、本書に記載されている対処法を実施するか、ワンタッチコールセンター 0120-113-903（24時間365日受付）にお問い合わせください。

## 注意

血糖値が  
20mg/dL未満です。

直ちに医師の指示に  
従ってください。

## 意味

血糖値が20mg/dL未満になっ  
ているおそれがあります。

## 対処法

ただちに医師の指示にしたが  
ってください。

## 注意

血糖値が  
600mg/dLを  
超えています。  
直ちに医師の指示に  
従ってください。

## 意味

血糖値が600mg/dLより高くな  
っているおそれがあります。

## 対処法

ただちに医師の指示にしたが  
ってください。

## 8 トラブルシューティング

### ⚠ 注意

測定器の温度が  
44℃を  
超えています。  
6~44℃の環境で  
ご使用ください。

### 意味

測定器の温度が動作温度範囲外（44℃を超える）にあるので、正常に動作しません。

### 対処法

動作温度範囲内（6~44℃）の場所に測定器とセンサーを置いて、数分間待つてから、新しいセンサーを挿入してください。このメッセージが再び表示されなければ、測定できます。同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903（24時間365日受付）までお問い合わせください。

 **注意**

測定器の温度が  
6℃未満です。

6~44℃の環境で  
ご使用ください。

**意味**

測定器の温度が動作温度範囲外（6℃未満）にあるので、正常に動作しません。

**対処法**

動作温度範囲内（6~44℃）の場所に測定器とセンサーを置いて、数分間待ってから、新しいセンサーを挿入します。このメッセージが再び表示されなければ、測定できます。同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903（24時間365日受付）までお問い合わせください。

## 8 トラブルシューティング

### ⚠ エラー1

測定器に問題があります。

コールセンターにご連絡ください。

### 意味

測定器に問題がある可能性があります。

### 対処法

この測定器は使用せず、ワンタッチコールセンター0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。

**!** エラー2

センサーが使用済  
またはセンサーか  
測定器の問題です。  
新しいセンサーで  
測定してください。

**意味**

使用済みのセンサーを挿入した、または測定器かセンサーに何か問題があると考えられます。

**対処法**

新しいセンサーを使って再測定してください。血液を使用した測定方法は23-30ページを、コントロールテスト実施の方法は39-48ページを参照してください。このエラーメッセージが再び表示される場合はワンタッチコールセンター0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。

## 8 トラブルシューティング

### ⚠ エラー3

測定準備完了前に  
血液をつけた  
可能性があります。  
新しいセンサーで  
測定してください。

### 意味

測定準備が完了する前に、血液またはコントロール溶液をセンサーに点着した可能性があります。

### 対処法

新しいセンサーを使って再測定してください。画面に「**血液をつけます**」と表示された後に、血液を点着してください。画面に「**コントロール溶液をつけます**」と表示された後に、コントロール溶液を点着してください。同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903（24時間365日受付）にご連絡ください。



**!** エラー4

血液不足または  
点着方法に  
問題があります。  
新しいセンサーで  
測定してください。

### 意味

次のいずれかの問題が生じた可能性あります。

- 血液またはコントロール溶液が不十分か、測定器のカウントダウンが始まってからさらに血液またはコントロール溶液を追加した可能性があります。
- センサーに問題がある、または測定中にセンサーを動かした可能性があります。
- 血液またはコントロール溶液のつけ方（点着方法）が正しくなかった可能性があります。
- 測定器に問題がある可能性があります。

### 対処法

新しいセンサーで再測定してください。血液を使用した測定方法は23-30ページを、コントロールテスト実施の方法は39-48ページを参照してください。同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。

## 8 トラブルシューティング

### ⚠ エラー5

センサーに問題が発生しました。

新しいセンサーで測定してください。

### 意味

測定器がセンサーに問題があることを検出しました。センサーが損傷していることが考えられます。

### 対処法

新しいセンサーを使って再測定してください。血液を使用した測定方法は23-30ページを、コントロールテスト実施の方法は39-48ページを参照してください。同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。

### △注意

測定範囲を上回る測定結果の場合、上記の通り「**血糖値が600mg/dLを超えています。**」というメッセージが表示されますが、おおよそ1500mg/dLを上回った場合には、「**エラー5**」のメッセージが表示される可能性があります。このメッセージが表示された場合には、測定器もしくはセンサーの問題によるエラーであるか、高値のためのエラーであるか判別できないため、注意してください。おおよそ1500mg/dLを超える高い血糖値が疑われ、「**エラー5**」が表示された時は、ただちに医師の指示にしたがってください。なお、「**エラー5**」が表示された場合は、この測定結果は測定器に保存されません。

## 8 トラブルシューティング



電池残量低下  
早めに充電

OK

### 意味

測定はできますが、電池残量が少なくなっています。

### 対処法

測定を続けるには **OK** を押し  
ます。その場合も、できるだけ早  
く電池を充電してください。



電池残量わずか  
直ちに充電

OK

### 意味

測定はできますが、電池残量  
がほとんどありません。

### 対処法

測定を続けるには **OK** を押し  
ますが、ただちに電池を充電  
する必要があります。

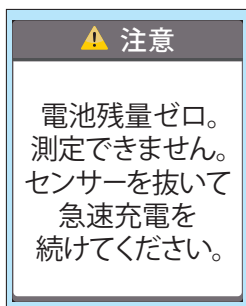


### 意味

測定を行うための電池が残っていません。

### 対処法

ただちに電池を充電してください。すぐに血糖測定を実施する必要がある場合は、急速充電を行ってください（急速充電の詳細は95ページを参照してください）。



### 意味

測定を行うための電池が残っていません。

### 対処法

測定器に挿入されたセンサーを取り出して電池を充電してください。急速充電の詳細は95ページを参照してください。

### 注意

測定結果が  
表示できません。

### 意味

次のいずれかの問題が生じた可能性があります。

- 初めて測定器を使用する場合、またはコンピュータにデータをダウンロードした後に測定結果が削除された場合など、測定器に保存されている測定結果がありません。
- 測定器はこの測定結果を呼び出すことができませんでした。この測定結果は測定結果の平均値には含まれません。

### 対処法

この測定器の使用が初めてではないにもかかわらず、このメッセージが表示された場合、ワンタッチコールセンター 0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。血糖測定は行うことができ、正しい結果を得ることができます。

過去の測定記録		
mg/dL		
4月1日 火曜日		
7:03		180
12:00		---
6:57		142
3月29日 月曜日		
12:00		110

## 意味

測定器はこの測定結果を呼び出すことができませんでした。この測定結果は結果の平均値には含まれません。

## 対処法

このメッセージが表示された場合、ワンタッチコールセンター 0120-113-903（24時間365日受付）までご連絡ください。血糖測定は行うことができ、正しい結果を得ることができます。

## 測定器で得た結果と検査室結果との比較

ワンタッチベリオ®IQ自己検査用グルコース測定器（測定器）に表示される測定結果と検査室での測定結果はいずれも血漿グルコース濃度に換算した値で表されます。ただし、測定器の測定結果と検査室の測定結果は、様々な要因により差が生じることもあります。測定器の測定結果は、検査室の測定結果の $\pm 20\%$ 以内に入っていれば、正確であると考えられます。検査室の測定結果に影響しない測定要因であっても、測定器の測定結果に影響をおよぼすことがあり、それが $\pm 20\%$ 以上の差を生じることがあります。測定器に表示される結果と検査室の測定結果の間に $\pm 20\%$ 以上の差を生じる可能性がある測定要因としては以下のものが含まれます。

- 食直後に指先で測定した測定結果は、静脈血を使った検査室の測定結果と比較して、最大で70mg/dL高くなる可能性があります。<sup>1</sup>
- ヘマトクリット値（血液に占める赤血球の容積を示すパーセンテージ）が60%を超える場合、または20%未満である場合。
- 重度の脱水症状を起こしている場合。

ワンタッチベリオ®センサーの添付文書も合わせて参照してください。

<sup>1</sup> Sacks, D.B.: "Carbohydrates." Burtis, C.A., and Ashwood E.R. (ed.), *Tietz Textbook of Clinical Chemistry*, Philadelphia: W.B. Saunders Company (1994), 959.



**測定器の測定結果と検査室の測定結果を正しく比較するためのご注意：**

**検査室の測定結果との比較のための測定を行う前に：**

- コントロールテストを行い、測定器が正しく機能することを確認してください。
- 測定器と検査室の比較を行うための測定前は8時間以上食事をとらないでください。
- 測定器と関連品を医療機関へご持参ください。

**検査室の測定結果との比較を行うために、ワンタッチベリオ®IQ測定器で測定する際には：**

- 検査室での検査から15分以内に測定器で測定してください。
- 必ず指先から採取した新鮮な毛細管血を使用してください。
- 測定器で血糖測定を行うときには、本書の記載事項に従ってください。

**本測定器の測定結果と他の測定器の測定結果の比較**


本測定器での測定値を他の測定器での測定値と比較することは推奨していません。測定値は測定器によって異なるため、測定器が正常に動作しているかどうか確認するのに有効な方法ではありません。

## 10 仕様・保証

### 仕様

測定の範囲	20-600 mg/dL
測定値	血漿グルコース濃度に換算した値で表示
検体	新鮮な毛細管全血
検体量	0.4 $\mu$ L以上
測定時間	約5秒間
測定方法	FAD-GDH（フラビンアデニンジヌクレオチドグルコースデヒドロゲナーゼ）
電源	充電式3.7vリチウムポリマーバッテリー
予測電池寿命	充電後6～8週間
血糖値の測定単位	mg/dL
メモリー機能	測定結果またはコントロールテスト結果を最大750件まで記録

## 仕様

自動切電機能	前の操作から2分後
寸法	87.9（高さ）× 47.0（幅） × 11.9（奥行） mm
重量	約47.06g（電池を含む）
動作範囲	温度：6～44℃ 相対湿度：10～90% 高度：3,048メートル以下 ヘマトクリット値：20～60%
電池の種類	充電式（交換不可）， 150mAh、3.7 v DC（公称値） リチウムポリマーバッテリー （充電電圧5V）
充電電流	100mA,  直流
充電温度	0～50℃

### 保証書

ご購入後、万一ワンタッチベリオ®IQ（測定器）に故障が生じた場合、3年間に限り無償で製品の交換をさせていただきます。ただし、次のような場合は保証期間内であっても有償となります。

1. 使用上の誤り、不当な修理により生じた故障、破損。
2. 火災、地震などの天災・地変による故障、損傷。
3. ご購入後の移動、輸送などによる故障、損傷。
4. その他当社の責によらない故障、損傷。

製品名	ワンタッチベリオ®IQ
シリアル番号	
保証期間	ご購入日またはご入手日 年 月 日より <b>3</b> 年間
ご氏名	
ご住所	
販売店名 または 入手先	病院名/店名・電話 ( )

\*この保証は、日本国内においてのみ有効です。

製造販売元：

LifeScan Japan株式会社

東京都中央区日本橋室町三丁目4-4

OVOL日本橋ビル2F

お問い合わせ先：

ワンタッチコールセンター

0120-113-903 (24時間365日受付)

### 電気および安全規格

本測定器はCISPR 11：クラスB（放射）の要求事項を満たしています。本製品の放射エネルギーは低レベルであり、周囲の電子機器の干渉発生原因となる可能性はほとんどありません。本製品はIEC 61000-4-2に規定された、レベル3の静電気放電に対するイミュニティ（耐性）について試験済みです。本製品はIEC 61000-4-3に規定される、3V/m、80MHz～2.5GHzの周波数範囲で、無線周波数干渉に対するイミュニティ（耐性）の要求事項を満たしています。

本製品は国際規格ISO 15197に規定されている周波数範囲および試験レベルでの電気干渉に対するイミュニティの要求事項を満たしています。

本製品を電磁放射線を発する電気装置または電子装置の近くで使用した場合、測定器の動作に干渉することがあります。電磁放射線の発生源のすぐそばでの測定は避けてください。

エアゾールスプレーを使用している場所で、または酸素吸入を行っているときに本製品を使用しないでください。



## 11 索引

### 英数字・記号

ACアダプター.....	11, 89
mg/dL.....	8,12,13,19,30,45,112
記号.....	3, 56

### あ

エラーメッセージ.....	96
温度.....	17,47,85,98,99,113

### か

過去の測定記録を見る.....	54,56
感染症を防ぐために.....	22
血糖測定の手順.....	17
血漿グルコース濃度.....	110, 112
「血糖値が20 mg/dL未満です」 のメッセージ.....	33, 97
「血糖値が600 mg/dLを超えています」 のメッセージ.....	34, 97
言語の設定.....	74
高血糖.....	34, 97
コントロールテスト.....	37
コントロール溶液の処分日および使用期限...	37, 38

### さ

時刻の変更.....	70
電池充電ポート.....	12, 90
仕様.....	112



使用目的 .....	6
食事マーク機能.....	49, 50, 76, 82
シリアル番号 .....	84
スタート画面 .....	14
設定 .....	68
センサー、銀色のコンタクトバー .....	13, 23, 40
センサーの廃棄.....	32
測定器で得た結果と検査室結果との比較 .....	110
測定器のお手入れ.....	86
測定器の電源を入れる.....	14, 23, 39, 54
測定器の電源を切る .....	16, 31
測定器の保管 .....	85
測定器のボタン.....	12
測定単位 .....	8, 12, 13, 19, 30, 45, 112

## た

高め/低めパターンメッセージ .....	60, 76
脱水 .....	21, 33, 110
データポート .....	12, 90
「電池残量ゼロ」のメッセージ .....	107
「電池残量わずか」のメッセージ.....	106
「電池残量低下」のメッセージ .....	106
電池（充電） .....	87
動作範囲値外のヘマトクリット値.....	36

## 11 索引

は

箱に含まれるもの.....	10, 11
パターンメッセージ.....	60, 76
バックライト.....	15, 23
日付の設定.....	72
平均値.....	58
保証書.....	114

ま

ミニUSBケーブル.....	10, 11, 89, 90
メインメニュー画面.....	14, 54

や

予期せぬ血糖測定結果.....	33, 34, 35
-----------------	------------



本製品に関するお問い合わせは：  
ワンタッチコールセンター0120-113-903  
(24時間365日受付)までご連絡ください。

製造販売元：  
LifeScan Japan株式会社  
東京都中央区日本橋室町三丁目4-4  
OVOL日本橋ビル2F

販売名・承認番号  
ワンタッチベリオIQ: 22700BZX00318000  
ワンタッチベリオセンサー: 22400AMX01423000

© 2019 LifeScan Japan KK

© 2015-2019 LifeScan, Inc.  
Rev. Date: 12/2018  
AW 06908002A

**Lifescan** 



AW 06908002A